

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	大垣市立綾里幼保園		
実 施 期 間	平成25年10月28日(月)		
実 施 概 要	老人クラブの方との交流会(ふれあい散歩) ・綾野地区老人クラブとふれあい散歩及び交流会(3.4.5歳児) ・綾野の町内を散歩し、山車や自然を観る。 ・地域の老人クラブの方とふれあい遊びをする。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	4人(写真撮影の為)	計 62人
	地域関係者	58人	
実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・綾里幼保園に集合し、園児と老人クラブの方とペアを作り、手をつないで綾野の町内を散歩した。 ・その散歩コースには綾野に保管してある山車の蔵が4カ所あり、順に廻った。その内の2カ所は蔵の中に入って山車を見せてもらった。綾野祭りを2週間前に迎えたばかりであったので、子ども達は「この前のお祭りで見たな〜。」「私見てない、こんなに大きいんだね。」と興味深く見ていた。 ・道中の畑の作物を見て「イチジク畑だよ。これは出荷用おいしいよ。」「あれはサト芋だよ。葉っぱが大きいでしょ。」などと声をかけてくださり、子どもたちは「全部イチジクなの?」と関心を示していた。 ・園に戻り、老人クラブの方にいただいたミカンと一緒に食べたり、手遊びやジャンケン列車などをしたりしてお年寄りならではの優しさに包まれることができた。 ・遊戯室では、歌を披露し合ったり、一緒に歌ったりして楽しいひと時を過ごすことができた。軍手と手紙のプレゼントを贈り挨拶をして帰りを見送った。 ・この様子は地域だよりに掲載した。 		
成 果 及 び 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・山車を見て印象的だった子どもは、後日、保護者の方と山車を見に行かれる姿もあり、子どもを通じて保護者へも文化を伝える機会になったようだ。 ・ふれあい遊びの一つとして、ジャンケン列車を取り入れたことで、勝った子どもを中心に老人クラブの方との優しいふれあいについての会話も家庭で弾ませられたようだ。 ・老人クラブの方が子どもの気持ちに寄り添い、歩調を合わせて下さったり、会話をして下さったりしたことで、老人クラブの方に親しみをもって心を通わせることができた。 ・子どもの喜ぶ表情や親子の会話から、地域に支えられている幼保園ということが保護者に伝わったようだ。また、老人クラブの方も自分の孫のようにかわいがる喜びを感じ、幼保園の子どもたちを支えてあげようという気持ちが言葉からも伝わった。 ・綾野の地区以外の子どものも綾野の文化や自然を知るよい機会となった。 		